農林金融2008年４月号

中国農村金融自由化の背景と可能性

(阮　蔚(Ruan Wei))

世界的に食糧需要が拡大するなかで、中国が農業生産を安定させることは大変重要である。その意味で、三農政策の進展は世界的な影響を持つ。三農問題の解決には資金供給不足が最大のアキレス腱となっている。農家の資金需要の大半が非正規の民間金融に頼っている現状は、農村信用社だけに頼るというこれまでの改革に問題があった。

その反省として、06年末、中国は農村金融市場をすべての資本とすべての金融機関に開放するという過去最大の政策転換を行い、「村鎮銀行」「農村資金互助社」「ノンバンク」の設立テストが認められた。この方向性は正しいが、実際に機能するには、参入ハードルの更なる引下げとともに、預金保険や信用保証保険等金融機関が持続的に働くような信用補完制度の構築が欠かせない。

現地にみる中国農村金融改革とその課題

(石田信隆)

蘇州市では、農村信用社を６地域ごとに統合し、農村商業銀行への転換が行われた。うち２行は株式の上場を目指し、外資との提携も視野に入れる。

江西省では、協同組合的な農村信用社組織の形態を維持しつつ、省連合社を設立し、その指導の下に改革を進めている。

いずれも優良な事例であるが、中国全体を視野に入れると次のような課題がある。

①農村商業銀行の脱農化懸念と、多様化する農村金融機関の経営リスク、②農村信用社の協同組合的特質の回復・強化、③政策資金導入と貸出ノウハウ確立、④金融・農業全般にわたる政府の支援、⑤農村金融を担う人材育成、⑥農民組織のあり方検討。

農林金融2008年５月号

都市農協の歴史を振り返る

(小野澤康晴)

都市農協を対象に、資産管理と信用事業の面から、①都市化への農協の対応、②都市化への対応のなかでの農協主要構成員間の相互関係の変化について、歴史的プロセスに位置づけて考察した。

都市化への対応については、高度成長期にみられた地域組合化の模索、農住都市建設や農地の宅地並み課税反対運動を通じての都市と農業の並存の追求、資産管理事業運営上の地域の系統以外の業者や専門家とのネットワーク形成といった点に着目した。農協の主要構成員間の相互関係の変化については、高度成長期における正組合員向け業務の希薄化と准組合員からの資金ニーズ拡大、組合員リーダーが主導して始まった農住都市建設、資産管理事業における組合員──農協職員間の依頼人──代理人関係の形成に着目した。

農協の総合生産性変化とその要因

(若林剛志)

平成に入ってからの農協の（総合）生産性の伸びはどの程度だったのか。本稿では労働生産性ではなく、すべての投入要素を考慮した総合生産性を計測した。計測に際しては、Malmquist総合生産性を使用した。データは主に総合農協統計表を使用した。

いくつかの前提のもと、計測された結果は以下の通りであった。1989年から2005年の17年間における農協の総合生産性は、年率1.31%で上昇した。総合生産性を伸ばす主な要因となったのは、規模の経済と技術進歩であった。それが、投入要素の大幅な削減をもたらし総合生産性を上昇させた。総合生産性の伸びを阻害したのは混合効果であり、それへの対応が課題となることを示した。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。

その他の研究成果

農林金融2008年４月号

（論文）

・中国農村信用社改革の評価と農村金融改革の課題
(中国国務院発展研究センター
農村経済研究部　部長　韓　俊(Han Jun))

（外国事情）

・米国における投資信託の成長と日本への示唆
(鈴木　博)

（情勢）

・農協における農業関連事業損益の現状と課題
(尾高恵美)

農林金融2008年５月号

（情勢）

・平成19年度第２回農協信用事業動向調査結果
(江川　章・一瀬裕一郎・斉藤由理子)
・森林組合の事業・経営動向
((財)農村金融研究会　調査研究部長　室　孝明)
・漁協経営と石油購買事業
((財)農村金融研究会　副主任研究員　尾中謙治)

農林金融2008年５月号

農協生産部会に関する環境変化と再編方向

(尾高恵美)

農協の青果物の生産部会に関する環境は大きく変化している。環境変化に適応するため、生産部会の再編は大きく２つの方向で進められている。

１つめは、農協合併に伴って旧農協の生産部会を統合して出荷ロットを拡大する方向であり、大規模や中規模の産地で比較的多く実施されている。

２つめは、直売所、生協や量販店、および加工・業務用といった販売チャネル別の生産部会を設立したり、技術水準など生産者の特性に応じて生産部会を設立する方向であり、中規模産地で比較的多くみられる。

ＪＡグループとしては、環境の変化を的確に捉えつつ、生産者の経営方針に基づいて販売戦略を明確にした上で、生産部会の再編を進めることが重要になろう。

金融市場

2008年４月号

情勢判断

1　足踏み状態に入った国内景気動向
～2008年内は利上げ見送りが濃厚～
2　2008年度経済見通し（２次QE後の改訂）
～実質成長率は07年度：＋1.6%、
08年度：＋1.5%～
3　米国当局は対応策を講じているが、
依然先行き不安は残る
4　経済・金融の動向

今月の焦点

1　最近の「円高」と日本経済への影響
2　バリアフリーと金融機関
～みずほ銀行「ハートフルプロジェクト」～

2008年５月号

情勢判断

1　牽引役不在で厳しい状況が予想される
2008年度の日本経済
～08年度内の利上げ見送りへ～
2　米国経済と株価の本格的底打ちの
見極めにはまだ時間必要
3　経済・金融の動向

今月の焦点

1　日本銀行の新体制発足と今後の
金融政策運営
2　地域別にみた企業倒産の現状と
今後の動向
3　民営化半年を経た「ゆうちょ銀行」
の現状

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。